### 実践記録(小4・総合的な学習の時間)

### 1 ねらい

課題について調べた情報が必要かどうかを判断したり、情報同士を結び付けてたりして自分の考えをもち、友達と考えと比較することで、情報を多角的に捉えることができるようにする。

## 2 手立て

- ・ 課題について調べた情報を整理した上で自分の考えをもつ 調べた情報を付箋に書き、考え構成シートで必要な情報を判断したり、調べた情報を結び 付けたりするなどの情報の整理を行い、そこから自分の考えをもてるようにする。
- 他者の考えと比較して自分の考えを見直す 情報を整理して得た自分の考えと他者の考えを比較することで、共通点や相違点に気付く ことができる。共通点や相違点を「考え進化シート」に整理して比較することで、自分の考 えを見直すことができるようにする。

### 3 実践の様子

まず、校内にある手すりや点字ブロックなどの写真を提示し、これらの設備が何のために作られたかを話し合った。そこから、「みんなにやさしい町とはどのような町だろうか」という課題をつかませた。

課題に対する自分の予想を基に調べるめあてを決めさせ、 図書資料やインターネットを活用して調べ学習を行わせた。 調べるめあてが達成されれば、新たにめあてを決め、繰り返 し課題について調べていく様子が見られた。また、学習プリ ントはポートフォリオにして累積させるようにした。

調べ学習後は、集めた情報を付箋に書き出し、考え構成シート上で整理して自分の考えを書く活動を行わせた。どの児童も課題解決に向けて、自分のポートフォリオを見返しながら、必要な情報を選択している様子が見られた。

友達と考えと比較する場面では、友達から取り入れたい考えを付箋に書き、自分の考え進化シート上に整理させた。友

「みんなにやさしい町とは、だれもが困らなくて、助け合える町だと思う」と自分の考えを見直すことができた。しかし、伝え合うだけで終わってしまい、考えの比較を行うことが十分にできなかったところもあったため、考えを友達と比較して情報を多角的に捉えやすくするようなシートに改善する必要がある。

達の考えに触れながら自分の考えを見直すことで、

# ## 1777リーについてまりなら、いますらもの「フリーは、いまなんのがないという意和。 たとなんは、 車」なな使いいる人は、かいまならのがないという意和。 たとなんは、 車」なな使いいる人は、かいまえといるといるといるといるとしないできる。 でリアフリーのことは、はじめし間いたいと、お老よりの方やしょう字者の人たちが、使う道具だと分かりました。 学習プリントの記述

かたらいやさしく、だれるが困らなくて、助け合える町だり思

バリアフリーはしら智者のはちが困らないけるめなバリアフリナ

考え進化シート上の児童の記述

# 4 成果と課題

○ 調べた情報をポートフォリオに残し、累積させていくことで、どの情報が自分の課題解決 に必要な情報か判断することができた。

状・トウモロ止り注意を よがま。

● 他者の考えに触れることはできたが、伝え合いで終わってしまい、情報を多角的に捉える までには至らなかった。